

はじめに

共同研究促進事業は、国立研究機関を核として、公立研究機関や企業、大学の研究者が研究分野・所属組織を越えて共同して研究に取り組むことで互いの知識、技術を最大限に利用し合い独創的な研究を円滑かつ効果的に進め、科学技術の振興に資することを目的としたものである。

平成5年度に関西地区研究交流促進会議がとりまとめた関西地区において推進すべき共同研究課題6課題のうち「プラズマCVMによる精密加工技術の研究」について、平成6年3月より、工業技術院大阪工業技術研究所を核として兵庫県立工業技術センター、(財)大阪科学技術センターが主催する「プラズマCVM応用技術研究会」参加企業、並びに科学技術振興事業団兵庫研究室が5年間に亘り共同研究を進めてきた。

この研究の主たる対象領域は本共同研究推進委員長の大阪大学 森勇藏教授を中心として進められてきた“超精密加工技術”に関するものであることから、大阪大学 大学院工学研究科のご指導をいただき研究を進めてきた。このたび共同研究期間終了にあたり、ここに共同研究の成果を報告書としてまとめたものである。

平成11年3月
科学技術振興事業団
研究交流・支援促進室